

## 事業報告書（令和 7 年度）

事業名 おかやま海ごみゼロ大作戦

団体名 特定非営利活動法人グリーンパートナーおかやま

担当者名 藤原 瑠美子

※活動の様子がわかる写真と説明を必ず添付してください。

### 1. 活動内容（日時、場所、講師、参加対象者、人数、内容等）

日時：2025 年 11 月 16 日（日）9：20～11：30（9：00～集合受付）

※小雨決行（雨天中止）

場所：旭川左岸堤外地（岡山市中区平井 6 丁目-4）

講師：磯部作氏

参加対象者：藤原瑠美子、藤原弘恵、藤原日出男、木村雄二、土師和也（グリーンパートナーおかやま 5 名）

藤原伶奈、大戸井裕基、関口陽、柳本美涼、滝澤遥斗（高校生 5 名）

入野弥桜、渡邊実果、藤本咲希、原本果林、小橋穂花（中学生 5 名）

岡本獅瞳（大学生 1 名）

中平徹也、磯部作 2 名

一般参加者：4 名（計 22 名）

人数：22 名

内容：旭川河川敷にてごみ清掃回収を行った。事前のごみ視察会議で必要な準備についても話し合っていたので、スムーズに清掃を行うことができた。旭川河川敷に十数名の参加者が集まり、可燃ごみ、不燃ごみ、ペットボトルなど、合計で約 50 キロを回収し、分別することができた。ごみの中には 10 年以上前のごみもあり、場所によってはごみ清掃が行われていないのだと知った。

活動写真



葦（草刈り）の中をかき分けてごみを回収①

年数が経過した缶、瓶など②



ごみの種類など意見交換発表③



ごみの種類など意見交換発表④



記念撮影⑤

## 2. ESD の視点

### ①事業を通じて、参加者にどのような気づきや意識・行動の変容があったか

この清掃イベントを通じて、参加した中高生たちの環境活動に対する意欲が高まり、主体的な関与が見られた貴重なごみ清掃となった。今後はこの活動を次世代へと繋げ、幅広い年齢層の方にも参加を呼び掛けていきたい。

### ②どのように学び合いを取り入れたか

場所によってごみの種類や賞味期限などが違っており、宝探しをしている様な楽しさやごみを拾うことでどれだけ年月が経過しているのかが分かって学びあえる活動になった。中高生がごみ清掃活動に参加することの重要性や意識改革、啓発啓蒙、情報発信、情報共有をもっと取り入れていきます。

③どのような学びと実践を結び付ける工夫を行ったか
旭川河川敷のごみの場所を変えることでごみの種類などが違うので視点を変えながら工夫しています。ごみ拾いを流行らせ隊を次世代に向けて情報発信し続けていきます。
3. 取組の成果（事業計画書に記載した事業の目的・目標をどのように達成できたか。事業を実施してどのような成果があったか。）
取組の成果として旭川左岸堤外地のごみ清掃を実施。岡山のモデル化として旭川ごみ清掃をしています。2050 年には海に魚がいなくなると言われており、解決しないといけない課題としてごみを減らす。上流から捨てられたであろうごみを少しでも私たちが情報発信しごみ拾いを流行らせ隊を繋げていきたい。また地域住民、漁業関係者、中高生の繋がりをもっと作っていききたいと思います。
4. 今後の課題と展望（事業がどのように岡山地域の ESD の取組と持続可能な社会づくりの発展・継続につながるか）
持続可能な取組なので海ごみゼロ大作戦を継続し岡山中心の中高生だけでなく県外の中高生とも繋がっていきけるような事業にしていきたいと思っています。ごみ清掃は、参加してみて気付くこと学ぶことがたくさんあり発見もありこの活動を継続してきて良かったと思えるような事業を目指していきたいです。